

Progress

第3学年 進路だより 第29号
令和6年 10月2日(水)発行
柏市立土中学校進路指導部

<進路説明会の感想>

- 出願の方法が直接とウェブ出願があることを知った。
- 公立や私立高校の推薦制度や出願の仕方など理解できました。
- 推薦制度についてしっかり確認できていたつもりだったが、今日の話聞いて間違っている部分があったので、確認できてよかった。
- 人生の中でも重要な決断だから、妥協せず真剣に決めたい。
- 自分の進路について改めて考えることができた。今日の説明会をもとに慎重に高校選びをしたい。
- 受験のルールを知るのと期限を守ることが大切。
- 高校や将来のことは自分のことだから、進路はしっかり考えて、決めたいほうがいいということを感じた。
- 公立高校よりも私立高校のほうが受験が早いので早めにどの高校にするか、また単願推薦か併願推薦かを決める必要があると思った。
- 書類を出したり、受験をするのがもうすぐということを感じてしまった。人ごとだと思わずに自分で考えるようにしたい。
- 10、11、12月ごとにすべきことが明確になっていて、提出すべきものが多くて大変だなと思ったり、いよいよ受験が近づいてきたなと感じました。
- 願書は紙だけではなく Web サイトでの入力の場合があるため気をつけようと思った。
- 改めて自分が受験生という立場なんだと自覚を持った。また、進路に関して真剣に考え、自分の後悔のない高校選びをする必要があると思った。
- 入試直前だけではなく、何ヶ月も前から本番に向けてやることが多い事がわかった。受験生がいちばん大変な理由は勉強もそうだし提出するものの多さが多いことがわかった。
- 志望校の組み合わせもかなり重要だということがわかった。
- 自分はまだ、公立も私立もしっかりと決まっていらないけど、自分のやりたいことが全力ででき、最後まで後悔しないような高校を選びたいと思った。
- 現実を見せられた。もっと頑張る必要があると強く感じた。
- 受験への見通しが見えるようになったため、やる気が出てきている。受験が始まるまであと少ししかないため、親ともちゃんと相談しながら最終的に受験へ向けて準備していきたいと思う。
- 受験はただ受けるだけでなく、事前準備もあるということ。事前準備も入試並に忙しいということ。
- まだ進路が決まっていらないので、両親と一緒に真剣に考えようと思いました。正直、併願推薦と単願推薦についてもっと理解が深くなった。

今回の説明会で、2学期から受験に関する事務的な手続きや提出物が多くあることが分かったと思います。受験に対しての準備がいよいよ始まったと思ってください。しかしまず取り組むべきことは、今週の2日間の中間テストです。9教科どの教科も悔いの無いようにテスト対策を行い、中間テストに挑んでほしいです。